

Book 最近, おもしろかった本

『生物と無生物のあいだ』

福岡伸一 著 講談社現代新書 777円(税込)

科学と無科学のあいだ, 科学と市民のあいだを真につなぐ貴重な橋

日弁連の夏季消費者セミナーに参加し、初めて食品安全委員会の人に話を聞いてビックリした。リスク評価を行なう食品安全委員会に法律家の委員は皆無だそうである。リスク評価の手法としてリスクベネフィット論が言われる通り、リスク評価は純然たる科学的評価ではなく、あくまでそれを踏まえた政策的価値判断にほかならない。だったら、その本領はむしろ事実認定を踏まえた法的価値判断のプロである法律家により発揮されるべきである。それが果されないとは法律家も見くびられたものだ。

しかし、その一因は科学オンチの法律家の側にもある。科学オンチのままではろくな事実認定もできず、結局、政策的価値判断もものにならないだろう。

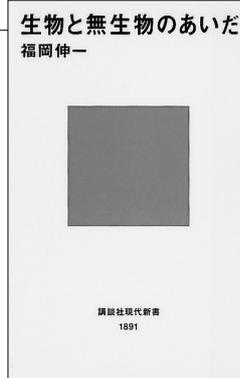
だが、科学オンチは科学の側にも責任がある。今や科学は市民社会の雲の上にそびえ立つ宮殿のようだ。素人の手には届かず、黙って科学者の言う通りに従うしかないながら中世の教会である。

実は我々は科学オンチを強いられている。しかし、科学は今や単なる自然認識ではなく、力業を発揮して自然と社会を

改造する巨大な工学として我々の前にある。我々の運命もまた科学の未来に委ねられている。だとしたら、黙って科学の未来に従う訳にはいくまい。我々市民こそ科学の未来をコントロールする力を持たなければならない(食品安全委員会を法律家が運営すべきというのはその意味でもある)。しかし、そのためには脱「科学オンチ」が必須である。

この脱「科学オンチ」にとって本書は福音である。なぜなら、本書から、科学は決してただの法則の体系的建築物(知識の集積)ではなく、一方で、我々と同様に生きた人間の個人的な営みであり、そこで発揮される栄光もいかにわしきも本質は我々と変わらず、他方で、科学の進歩は科学者の認識の偉大さというよりその浅はかさを益々思い知らせるものであることを知るからである。我々は本書から科学することを学ぶこと(それが科学を理解する唯一の方法である)ができるだろう。本書は現代生物学のエッセンスをズブの素人でも分かってもらおうと本気で書かれた科学と市民を真につなぐ貴重な橋だ。

(会員 柳原 敏夫)



Cinema 心に残る映画

『アモーレス・ペロス』

1999年／メキシコ／アレハンドロ・ゴンザレス・イニャリトウ監督作品

プリミティブな熱情にあふれる 犬と3人の男女の切ない物語

犬と3人の男女の切ない物語。題名の日本語訳は「犬の愛」というらしい。

私が映画を観る機会のひとつは、大同キネマという映画鑑賞会で仲間と一緒に映画館で観る。大同キネマは弁護士グループの中の会で、15年くらい前にできた。2月に1回くらい、平日の夕方から観ている。参加者は10名程度で、映画を観た後、映画の感想やその他もろもろの話題でもりあがる。

もうひとつはテレビである。紹介する映画もテレビで観たが、DVDも販売されているようである。

私の記憶に従ってストーリーを紹介する。主人公は若者(男)と若い女と初老の男で、一種のオムニバス映画である。

若者の仲間同士で闘犬がさかんであった。若者は自分の犬を強い闘犬に育て上げる。闘犬のもつれで仲間を追われた若者は犬を乗せて車で逃げる。若者が乗った車は交差点で衝突事故を起こす。ぶつかった車には若い女(売れっ子モデル)が乗っていた。その事故現場に初老の男が通りかかる。事故現場には大勢の人がたかっているが、犬にまで気をとめ

る人はいない。男は重傷を負った犬を自分の住まいに連れて帰る。男はもとは大学教授であったが、家族と別れ、おちぶれて今はテロリストになっている。男は数頭の犬と一緒に倉庫のようなところに住んでいる。テロリストとなった男にとって犬だけが心を通わせることのできる存在であった。男は手厚く犬を介抱し、犬は一命を取りとめる。ところが…。ここからは書かない方がよいと思うのでやめておく。

女は妻子ある男と不倫の関係にあったが、女の恋は成就しかけていた。女は事故で足を失う。女はマンションで犬を飼っていた。こちらは愛玩犬である。その犬が床の穴から床下に落ちてしまう。犬は天井裏で何日もうろろしている。女は犬を救い出そうとして必死に穴から犬に呼びかけるが、犬を呼び寄せることができない。このシーンは、もう少しで手に入れることのできた幸福が事故のために手からこぼれ落ちた悲しさ、焦燥を象徴するかのようである。最後には初老の男が再発する場面がある。プリミティブな熱情にあふれた迫力ある作品である。

(会員 丸山 俊子)

『アモーレス・ペロス スペシャル・コレクターズ・エディション』
発売元：パラマウントホームエンタテインメントジャパン
価格：¥1500 (税込)
ハッピー・ザ・ベスト! 発売中

